

委託ビデオ教材を配付しました

平成11年度に委託しましたビデオ教材「いいね金沢」シリーズ4作品、制作にあたった先生方の努力と各校の協力により完成しました。総合的な学習の時間等でご利用いただける内容です。市内小学校に配付いたしましたので、積極的にご活用下さい。

題名 時間等	内容 教科等
ぼくたちが作る生き物いっぱい の池 ～学校ビオトープ～ 11分 VHS	自然環境が少なくなった校区（金沢市立中央小学校）の子どもたちが学校に虫たちを呼ぼうと生育場所を作る計画を立てる。生き物の環境調査から、ビオトープの設計図・そしてビオトープの池作りへと子ども達の夢はふくらんでいく。 総合的な学習の時間・理科
新しい都心づくり ～駅西再開発～ 11分 VHS	今、金沢市は21世紀へ向けて、新しい町づくりを行っている。それは金沢駅を中心にした再開発事業である。これ取材し、現在進行形の金沢市の未来の姿について、子供たちが想像する手がかりになればと考え、このビデオを制作した。 総合的な学習の時間・社会科
先端技術と伝統技術を生かすまち 10分 VHS	400年の歴史をもつ金沢。様々な伝統産業を育てている金沢であるが 先端技術（新しい技術）と伝統技術をたくみに組み合わせるなど、二つの技術を生かしているまちであることを紹介する。 総合的な学習の時間・社会科
商店街の生きる町 9分 VHS	商店街では大型複合店舗の影響を受けながらも、振興組合を作ったり、金沢市と協力して商店街の発展に励んだり、お客さんに来てもらう工夫や努力をしている。そのいくつかの例を紹介する。 総合的な学習の時間・社会科

教材・機材の搬送に関するお願い

昨年度は金沢市視聴覚センターの視聴覚機器をご利用いただき、お礼申し上げます。今年度も機器の貸出、搬送が円滑に行われますよう、ご協力お願いいたします。

1. 予約について

- 貸出の予約は利用日の前々日までとします。
(前日の急な申し込みは受け付けません。その場合翌々日の配送になります。)
- 教材・機材の延長の希望は、返却日の前日までに必ず電話で連絡下さい。
- 機材の点検は事前に行っておりますが、急に機材が故障しても、すぐに出向いたり修理したりできませんので、特に大切な上映会等がある場合は事前にチェックをお願いいたします。

2. 搬送・収容について

- 小・中学校への機器等の搬送・収容の受け渡し場所は校務士室とします。
- 公民館、児童館、保育所（園）、幼稚園等の機器等の搬送・収容の受け渡し場所は事務室とします。
- 教材・機材を返却する場合は、利用報告書を記入の上、数や付属品などの確認を忘れずをお願いいたします。
- 返却日の午前中に収容にまいりますので、返却日の朝には校務士室（事務室）で保管願います。

発行者
金沢市教育研究センター
所長 福島 茂
〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
TEL (221)7949 FAX (221)6800
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/ed-center/>
ed-center@city.kanazawa.ishikawa.jp



平成12年6月30日発行

金沢市教職員研修の中核的な役割を担って

金沢市教育研究センター
所長 福島 茂

21世紀を目前にして、情報化、国際化、少子高齢化や経済のグローバル化が急激に進み、今後とも一層加速することが予想されます。また、いじめ・不登校の問題への対応や心の教育の推進等、緊急に取り組まなければならない課題も山積しています。

こうしたことをふまえ、一人一人の子どもを個性を尊重し、心豊かに逞しく育てていくため、教育改革が具体的に進められ、学習指導要領が改訂され、教育内容等の見直しが行われてきています。

今年度から新しい学習指導要領の移行措置が始まっています。一人一人の子どもたちには、「豊かな心」や「生きる力」が育つ素地が備わっているはずですが、それが育ち、伸びるかどうかは周りの大人、とりわけ教師の指導如何にかかっているといっても過言ではありません。それだけに、学校に対して厳しい注文と大きな期待が寄せられ、教師の資質向上が強く求められているわけです。

この4月1日から県費負担教職員の研修権限が中核市に委譲されました。それにともない、今年度、金沢市の教職員研修を大きく見直し、次の3点を柱に、初任者研修や経年研修、職能研修、専門研修、地域研修等、延べ159の講座を開設いたしました。

- 1 教職員のライフステージに応じた研修
- 2 広く郷土金沢を学ぶ研修
- 3 ゼミナール形式等を取り入れた参加型の研修

市の独自性を大事にしながら研修体系や研修内容を吟味し、教職員の皆さんの研修に対する主体的な姿勢・意欲を喚起し、校内研修の活性化につながる研修をと検討を重ねてまいりました。そして、その過程において教育研究センターの果たすべき役割が更に大きく、重くなったことを痛感いたしました。

教育研究センターの職員も増えましたので、そのスタッフとともに、皆さんの声に真摯に耳を傾け、知恵を出し合い、「教職員研修・研究」、「情報教育」、「小学校英語活動」、新規にセンターの事業としてスタートする「小中一貫英語教育の推進」に精一杯取り組んでいきたいと思っています。

金沢市教育研究センター事業

研修事業

- 中核市への教職員研修権限委譲により
 - 159講座開設・実施
 - ・経年研修・職能研修
 - ・専門研修・地域研修
 - ・特別研修

研究事業

- 教職員課題研究委託
 - ・今日的課題等、教育課程教育経営、評価の在り方等に関するグループ研究委託
- 調査研究
 - ・金沢市の教育課題研究

情報教育

- 研修支援
- 教材作成支援
 - ・コンピュータ教材、ビデオ教材の作成支援

英語活動・英語教育

- EAC計画訪問
- EAA登録派遣
- 小中一貫英語教育推進

教育研究センター組織

所長	(総括)	福島 茂	
所長補佐	(管理、研修総括)	小山 孝成	
庶務	(センター予算作成、執行)	上嶋 祥明	
	(研修・英語活動予算作成、執行)	寺田 孝	
	(受付、貸出)	乙 真永	
	(搬送)	嶋 貞雄	
	教育研究	(研修会運営、初任者研修)	荒井 秀典・澤村 隆司
		(専門研修)	大浦 正
		(若手・中堅研修)	寺井 雅樹・本田 秀平
		(職能・地域研修、教職員研究)	日爪 憲一
		(小学校英語活動、調査・研究)	松永 法子
		(小中一貫英語教育)	羽岡 清美
視聴覚	(EAC)	クリスファ バックマン	
		タニア キリアキス	
	(情報教育、ライブラリー)	ピートリス ハウエル	
		金岡 弘宣	

金沢市教職員研修“元年”

今年4月から、学校では新学習指導要領の移行措置に入っています。その目的は、ゆとりの中での「生きる力」の育成に他ならないのですが、創意工夫を生かした教育課程の編成など学校の自主性・自律性を目指している点にも注目しなければなりません。

同時に忘れてならないのが、平成11年7月に成立した地方分権推進一括法での教育行政の地方分権と規制緩和に見られる一連の「国からの管理権の移行」の方向性です。これらを併せて考えると文部省は市町村教育委員会や各学校に対して独自の裁量での行政や、学校づくりを働きかけているということになります。すなわち「画一的な規制を緩和し、地方に合った特色ある行政を行い、子どもの実態にあった学校づくりを目指してもらいたい」ということなのです。当然の事ながら自主性・自律性を唱うからには自己責任が問われます。同じような図式が学校内でも当てはまるのではないのでしょうか。画一的な学級づくりではなく個性を生かした学級づくりを……。そして問われる教師一人ひとりの資質や責任。このような時代だからこそ、教師として個々の力量を高める必要があると感じます。

本年度金沢市では石川県からの研修権限委譲を受け、市独自の特色ある研修体系を組みました。先生方が直面している教育課題を洗い出し、それを教職経験5年ごとに編成し直しライフステージに応じた研修を新設しました。また著名な講師を招いて教育界の動きや、先進的地域の状況等に触れる講演会を提供する一方、教職員が積極的に参加できる体験型の研修会や、郷土金沢を学ぶ研修会も準備しました。

世の中の動きも早く、児童生徒を取りまく環境も複雑になってきています。教職員もこの急激な時代の流れに沿うべく、特色ある学校づくり、個性あふれる児童生徒の育成を目指して取り組むことが急務です。金沢市が準備した研修会を多に活用され、是非とも学校や学級に戻って実践していただき、またそれぞれの先生方が受講され知り得たものを職場の中に広げていただければと思っております。これらの研修会が今学校に求められている諸課題に対する参考や手助けになり、教職員の教師としての「生きる力」を育む一助になり、また学校の活性化に繋がるものになるであろうということを確認しています。

本年2000年は金沢市教職員研修会の“元年”です。先生方の研修会に対するニーズやご意見など忌憚のない声を聞かしていただき、よりよい研修にしていきたいと考えています。(荒井)

地域研修 金沢の市政

講師 山出 保市長

郷土金沢を学ぶ講座の初回に、「世界都市金沢をめざして」と題した市長のお話を伺いました。参加した約90名の小中高教員は、市長の熱意や意欲に刺激され、地域を生かした教育を、と心を新たに感じた感想が寄せられました。

(感想)

- ・参考資料に提示されている市の施設をまず自分が訪れてみて、金沢の歴史と文化についてできる限り子どもたちに伝えていきたい。教師がまず市を知ることが大切。
- ・生徒に金沢の将来的施策を話し、視点に興味を抱かせたい。夢のある将来イメージが描け、活力が湧きそうである。
- ・広い視野で教育を考えることや、先を考えた課題設定意識を持って事にあたろうと思った。
- ・金沢市民としての自覚と行動を考える契機となった。市民としての大きな視野で教育を見つめることができるように思う。
- ・今年から始まった地域研修講座は新指導要領にも強調されている総合的学習とも関連して、とても勉強になった。このような講座の充実を望む。



一つ一つの講座を、受講者と共に充実した実りあるものにしていきましょう。